学校だより 北友 ９月号

富士宮市立北山中学校
令和５年９月４日（月）
１年47名　２年47名　３年51名
全校生徒数　145 名

【学校教育目標】 夢に向かって　自ら学び　共に高め合う生徒

２学期始業式「校長式辞」より

校長

Ｉ学期の終業式では、「ＴＰＯを意識した言動」「ＳＯＳの発進」などについて話しました。覚えている人も多いと思いますが、ＴＰＯは日本人が作った略語で、ＴはTime（タイム：時間）、ＰはPlace（プレイス：場所）、そして、ＯはOccation(オケージョン：場面）という意味でしたね。「時と場所、場面・状況に応じた言葉遣いや行動」はマナー面に加え、健康や安全面でも大切であり、適切な判断と言動をとるようにお願いしました。また、ＳＯＳを発進することについてもふれました。大人でも困っている時は自然に助けを求めます。皆さんも、困ったことや悩みがあるときは、遠慮せずに身近な友人や大人に相談して、安心できる環境を整えていきましょう。(中略)

夏休み中も、次のような感情を抱いた人がいると思います。

① 何かに感動した、または、とてもうれしいことがあった。
② 怒りを感じたり、または、とても悔しかったりする思いをした。
③ 悲しくて、または、辛くて、涙が出るようなことがあった。
④ わくわくしたり、大笑いしたりすることがあった。

さて、幾つありましたか…。ここに挙げたような心の動きや感情を四字熟語では「喜怒哀楽」といいますね。日によっては、「喜喜楽楽」という日を過ごせたかも知れません。うれしいことや楽しいことで一杯の一日なんて素晴らしいですね。反対に、「怒怒哀哀」といった日はいやですね。怒りや悲しさなどで心が一杯の時は、深呼吸して気持ちをリセットしたり、何かに打ち込んだり、また、うれしいこと、楽しいことを思い浮かべたりして、感情をコントロールする力も今後大切になります。

今年の夏は、この「楽しむ」を英語のEnjoy（エンジョイ）に変化させた言葉として活用した言葉を何度も見聞きしました。甲子園で107年ぶりに優勝した神奈川県代表の慶応高校のモットー”Enjoy Baseball”です。自由な髪型や常に笑顔といった見かけのものではなくて、自分たちで考えて野球をする「主体的な取組」がその原点にあると、高校関係者のインタビューや報道の解説などでも話題となっていました。もちろん監督やコーチがメニューを組んで、基礎練習等をすることは当然あると思いますが、自分たちで自分たちの課題を見つけ、経験年数や学年に関係なく仲間と共に意見交換し、解決していく。さらに、課題を見つけ、新たな挑戦をしていく…、という取組をしているようです。日本の部活動では、このような方針が主流になってきたという解説もありました。

北山中学校の皆さんは、ここまでの話で何かに気付いたと思います。このような方針は日頃の皆さんの授業形態と一緒なのです。課題を見つけ、自分の考えを持ち、仲間の意見も取り入れながら、解決していく。そして、まとめや振り返りを通して、学びの調整をしながら、新たな課題に挑戦する…。学習面では、ドリル的なトレーニング方法も時には必要になりますが、同様に、運動面では走り込みや筋力・体幹トレーニングなど、厳しく苦しい基礎練習もたくさん行う必要があります。しかし、そのような厳しい練習でさえ主体的に取り組むことで、「Enjoy Baseball」を実現できるのだと思います。

さて、２学期を迎えるにあたり、皆さんは「Enjoy ［　　］」という、この欄にどのような言葉やイメージを思い描きますか。仲間と共に絆を深められる…。そして、自分の成長を実感できる…。もちろん、途中で喜怒哀楽といった感情の起伏もあるかも知れませんが、「本当の楽しさ」を実感できる２学期にしていきましょう。